

~学校編~

① 中間試験

11月の学内のメインピックとして中間試験の様子を紹介します。大学は秋学期と春学期に分かれており、今月が中間試験の月であったため私は英語・トルコ語・ソシオロジーの試験を受けました。そこで以下の気付きと感想を持ちました。

- ・日頃の授業態度と復習がテスト結果に直結すること。
- ・試験期間は夜遅くまで大学で必死に勉強する生徒が多く、勉強に対する熱量に刺激を受けたこと。
- ・トルコ語の試験でリスニングが聞き取れるようになり、簡単な単語や文法なら解答できたことに自身の成長を感じた。

以上の点を踏まえて最終試験ではより良い結果を出せるよう精進していきます。



・授業の様子

②大学のプロモーションビデオ参加について

2つ目の学内報告は、大学から依頼を受けたことをきっかけにプロモーションビデオの撮影に参加したことです。インタビュー形式で留学生としてトルコに来た理由などを聞かれました。しかし英語に自信が無い私は友人に手伝って貰いながら事前に質問への回答を作成し撮影当日を迎えました。結論として撮影中にメモをチラ見することさえ許可されず満足した結果とはなりません。しかし、この経験を経て改めて私がなぜ留学を決意したのか、イズミル経済大学での経験は将来どのように生かせるのか等、自身でよく考える機会を設けられたため挑戦して良かったと感じています。

日常編

今月は、トルコでの飲食店アルアルを取りあげていきます。
結論から言うと主に2つの特徴が挙げられます。

- ・おしぼりは提供されるが食後に使うのが一般的であること。
- ・食べ終わったら即座に下げられること。

初めてトルコに到着し、食事をした際におしぼりが出されたため日本と同じ文化だと考え食前に使用したところ、本来は食後に手を綺麗にする目的で出されていたことを知りました。初めは戸惑いでしたが、今では食後に手を拭くという文化に慣れつつあります。またおしぼりはレモンや香水の香り付きであるため、油っぽい食事の後にはスッキリと気分を変えることができ、お店ごとで違う香りのおしぼりで手を拭くことが楽しみの一つにもなっています。

続いて、レストラン、フードコート、カフェなど、あらゆる飲食店で共通する特徴が、食べ終わったものは即下げられるということです。ずっと見張られているのかとを感じるくらい、最後の一口を食べた瞬間に下げられます。例えば友人と食事に行った際に私が先に食べ終わると店員さんは私のお皿だけ下げに来るため、初めは少し戸惑い気まずい感覚がありましたが、面白い文化だと感じました。特にケーキのイチゴなどを最後に食べようと最後まで残しておく確認無く下げられる可能性があるため、皆様もトルコで食事をする際には好きな具材などは先に食べておくことをお勧めします。

終わりに

今月は学校編と日常編に分けて報告しました。レイアウトや内容についてもっと分かりやすく、明確に伝えられるよう試行錯誤してより良い報告書を作ることが来月の目標です。

最後に食事風景の写真と、「今月の絵」を載せておきます。

来月もよろしく願いいたします。

Görüşürüz!

